

うです。同様に「自家用車」という言葉にはレンタルの合理性など絶対に認めないぞ、というかたくなな独占欲すら感じてしまいます。「金持ち父さん」で話題となった、ロバート・キヨサキによれば住宅や車は資産ではなくマイナスのキャッシュフローを生む元凶でしかないのだそうです。資産を持つから借金が生まれ、借金をするから利息を取られ、固定資産税まで行政に持っていかれる。たまたまその資産が30年後に幸運にも価値を失っていなければ、とどめとばかりに相続税を徴収されてしまいます。

技術革新が日進月歩のOA器機をレンタルしない会社はおそらく少ないでしょう。だったら住宅だってレンタルでいいじゃないかと思うのですが……。30年前に買った住宅にはウォシュレットや床暖房は装備されていなかったはず。10年後のユビキタス社会では電子ホームが当たり前で、携帯端末で自宅の家電と対話しているでしょう。何十年ものローンを組んでしまった後では技術の進歩の恩恵にさえあずかれないのです。加えて、今年のような自然災害の恐怖です。目いっぱいローンを組んで、夫婦共働きで、ふうふう言いながらやっとの思いで生活している人が災害に見舞われた時、元の生活に戻る余力は残されているのでしょうか？

今やるべきことは、壁を塗り替え、表具を張り替えることではなく災害や病魔に強い生き方に考え方を切り替えることだと思います。災害にばかり気を取られていると、今度は、お父さんがリストラに遭うかもしれません。新居を構えたり、新車に買い替える生活設計ではなく、自分のライフスタイルを厳しく変化する現在の環境に適合させる知恵を磨くべきだと思うのですが……………。

12月近隣RC特別例会案内（記帳受付）

RC名	変更事由	記帳場所
7日（火）分 水	クリスマス家族会	新潟大栄信用組合
9日（木）加 茂	休会	加茂市産業センター
14日（火）田 上	忘年家族例会	田上町商工会館
16日（木）加 茂	会員家族忘年会	加茂市産業センター
17日（金）吉 田	忘年会	山岸会計事務所
20日（月）三条南	忘年家族会	三条信用金庫本店
22日（水）三 条	忘年家族会	三条信用金庫本店
29日（水）三 条	休会	三条信用金庫本店

11月30日例会：夜例会 18時30分点鐘 於三条ロイヤルホテル
卓話「プロと感性」石丸孝行会員

12月7日例会：年次総会

12月14日例会：卓話

12月21日例会：クリスマスパーティー

12月28日例会：休会（年末）

1月4日例会：休会（正月）

1月11日例会：新春例会 担当斎藤会長



会長／斎藤 正
幹事／小林 満
SAA／阿部勝子

三条北ロータリークラブ週報

ロータリーを 祝おう 100年の歩み

例会日
2004. 11. 16
累計 No 873
当年 No 17

国際ロータリー会長 グレンE. エステス シニア 第2560地区ガバナー 横山芳郎
ホームページ <http://www.2nextne.jp/district2560/>

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
TEL35-7160 FAX33-8972

ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org> メールアドレス north@sanjo-nrc.org

行事：卓話「学校教育の現状」三条市立裏館小学校校長 大野 源様

出席：本日の出席 61名中 40名

先々週の出席率 60名中 53名 88.33%（前年同期85.0%）

先週のメイクアップ：11月10日 地区災害対策会議 中條耕二さん

10日 第四分区会長幹事会 斎藤 正さん、小林 満さん

15日 地区打合（新潟東RC）中條耕二さん

ゲスト：三条市立裏館小学校々長 大野 源様

会長挨拶：斎藤 正会長



この度の新潟中越地震に対して、ガバナー事務所に対策本部が設置されたことは会員の皆さんにお知らせしましたが、対策本部の機能を速やかに始動させるためにも、第1回の災害対策アドバイザー会議が開催されました。話し合われた内容について皆さんに通知いたします。

そこでの意見、提案等を受けさらにガバナー自身の考えを加味したなかで具体的な取り組みが決定されものと思われま。当クラブの対応はその結果を踏まえて判断してゆきたいと考えています。

第1回災害対策アドバイザー会議ご報告

日時：2004年11月10日（水）正午より ホテルイタリア軒

出席者：横山芳郎、栗山 清、吉田昭平、佐野 孝、原 信一、神成肅一、中條耕二

山崎堅輔、遠藤長彦、春日忠男、細井増雄、吉田拓蔵、小山楯夫、小木順一郎

小林 悟、本間 彊

◆被災地RCからのお願い

1. 新幹線、消雪パイプの復旧が最優先であるがこれについては行政及び経済団体に委ねたい
1. 被災地以外のロータリアンから今後一層の支援をお願いしたい
1. 住宅を失われた方々に仮設住宅を雪が降る前に早急に、水害義援金をも含めてロータリーで用意

することはできないだろうか

1. DDFの地区資金を活用できないか

1. 地区として1～2億円の募金活動をして欲しい

1. 各RCのニコニコBOXを義援金にまわして欲しい

1. 街頭での募金をロータリアン、インターアクトに呼びかけて欲しい

1. ローターアクトに積極的にボランティアに参加して欲しいし、その費用については各RCが負担してあげて欲しい

1. ロータリアンの医師は休日ごとに被災者、お年寄りの診察を行って欲しい

1. 被災地のロータリアンは職業奉仕に専念して頂きたい

1. 物資は間に合ってきたので可能ならば支援金を頂きたい。短期的に被災ロータリアンへの見舞金が必要である

◆アドバイザーよりのご提案

1. 各RCに余分な資金があるはずなので、それを活用して援助が必要なロータリアンの助けになるような活動をすべきである

1. ロータリーらしい適切な使い方を焦らずに検討して欲しい

1. 本部長主導で全クラブに対し200万円の義援金を要請してはどうか

1. 住宅問題への支援が大切で被災地区の空き部屋、民宿、旅館をロータリーで借り上げて無償提供してはどうか

1. 被災中越のRCと上越下越のRCの温度差の問題を解決しなければならない

1. ロータリアン以外への支援は見える形で行った方が良い

1. ロータリアンに即効的な見舞いが早急に必要だ

1. 湯沢の空マンションを借り上げて利用したらどうか

1. 今、何が必要かと言われるとお金が必要だという意見が多い。そのような支援をすることで退会防止に繋がる

◆今後の取り組み

1. 地区として義援金募集に全力を挙げ、ロータリーらしい適切な使い方を検討する

2. 被災を受けていないRCに一層の支援を依頼する

3. 被災地RCに早急にお見舞い金をお届けする

◆横山ガバナー指針

1. 各RCの自主性を尊重すべきで、この災害支援も各RCが積極的に自主的に動くことが望ましい。したがって地区としては具体的な募金額の設定はすべきでないとする。しかし、地区として動いたほうが効果的である場合は積極的にネットワークを活用して、対策本部を通じて動きたい

1. 水害義援金については、なるべく水害被災地のために使うべきだと考える。水害被害を受けた分区の意向が大切である

1. 被災地からのお願いについては、実情に詳しい鈴木現地統括本部長と相談の上進めていきたい

とんどです。

したがって、体験が少ないことから「私とあなたはつながっている」「自分と自然はつながっている」「ざらざらする」「すべすべする」「ぬるっとする」「ちくっとする」等々感覚的につかめません。五感を喪失していると言ってもさしつかえありません。これは子どもの責任ではなく、大人の責任です。フランスでは、長期の自然体験が出来るように国で政策として取り上げています。子どもたちは、1ヶ月間も田舎に自然体験に行くそうです。日本でも文部科学省が、その必要性を感じ動き出しました。とは言ってもすぐ政策として打ち出せるわけではありません。当分時間が掛かります。したがって、人任せではいけません。自分たちで出来ることから始めなければなりません。意図的計画的に自然体験・社会体験が出来る環境作りをしていきたいものです。

教育課程の編成について

家庭や地域社会で自然体験・社会体験の機会をつくるとともに学校でもつくる必要があります。学校では、教育課程の編成を行っておりますので、その際、自然体験・社会体験を教育計画に組み込んでおります。教育課程の編成権は校長にありますので、この時、校長の経営手腕を発揮することになります。

裏館小学校では、総合学習でより多くの自然体験・社会体験をする機会を設けております。その一つが「うらだての森に学ぶ活動」です。すばらし教材樹林を皆様方のお力で完成することが出来ました。自然体験の入り口を経験する場として活用させていただいております。大きな成果が上がっております。

(学校経営のグランドデザインは別紙を参照ください。)

おわりに

五つの課題をあげ、特に、ADHD対応と体験不足の克服について触れてきました。レイチェル・カーソンは言っています。『夜の次に朝がきて、冬が去れば春になるという、自然の変化に興味を持ち続ける。感性豊かな生き方が大切です。』このような生き方が、学校教育にも個人生活にも求められているのではないのでしょうか。体内時計のリズムが早まり、一日一日を過ごすのが、誰もが精一杯になっています。このような時代になればなるほど、レイチェルの言葉が身に沁みます。

会員の声： 第10代幹事・16代会長 木宮 隆

三条は天災には縁遠い土地柄と安心していたら、大雨、台風、地震と立て続けに被災し、今ではちょっとした物音にも身体が怯える始末です。とはいえ、災害が起きるたびに防災対策云々が俎上にのぼるけれども、喉もと過ぎればなんとやらで、1と月も経てば、全て忘却の彼方です。

思い返せば阪神淡路大震災の時、賃貸マンションに入っていた人は新しい別のマンションに移ればよかった。一方、建売を買った人はたとえ別のマンションに移ったとしても、壊れたマンションの返済がしっかりと残った。つまり、住宅を賃貸するか買い取るかでまさに天国と地獄のコントラストが現出したわけです。当時、災害に強い生きかたをもっと考えるべきとの指摘もありましたが、あの教訓は一体どこに活かされているのでしょうか・・・？

それにしても、人間は何故こうも所有欲が強いのでしょうか？アパート暮らしで毎月家賃を払うのは貧乏臭いと考えてしまうくせに、毎月せっせと住宅ローンを払うことにはさほどの抵抗感もないよ